

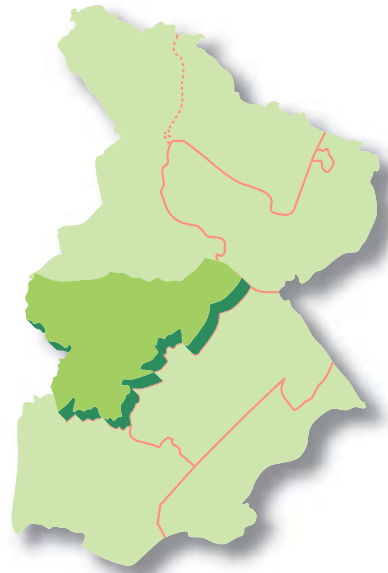
千里山・佐井寺地域

プロフィール

市域中央部に位置しており、千里丘陵の起伏に富んだ地形を持ち、古くから尾根筋に佐井寺、谷筋に春日などの集落が形成されてきました。集落内には歴史的なまちなみ、佐井寺伊射奈岐神社や佐井寺など歴史的資源が数多く残されています。

千里山地区は、大正末期に阪急千里線の開通に伴って郊外住宅地として開発され、緑豊かな閑静な住宅地として発展してきました。広大な敷地に豊かな緑とオープンスペースを持つ関西大学は、地域文化や学生向けのにぎわいのある商業地を形成してきました。

佐井寺地区では、古くからの集落が持つ趣を残している市街地に加えて、土地区画整理事業により新しい住宅が多く建設されました。そのため、この地域では近年人口が著しく増加しています。



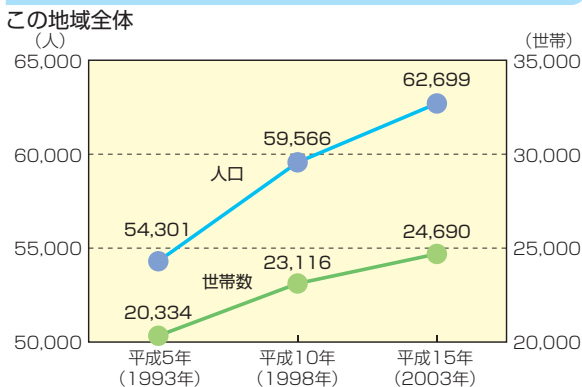
まちの様子

人口

人口増加が続き、年少人口の比率が高く、子どもがいるファミリー世帯の比率も高くなっています。

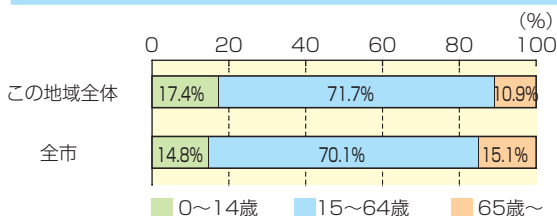
人口・世帯数の移り変わり

住民基本台帳による



年齢3区分別の人口割合

平成15年(2003年)住民基本台帳による

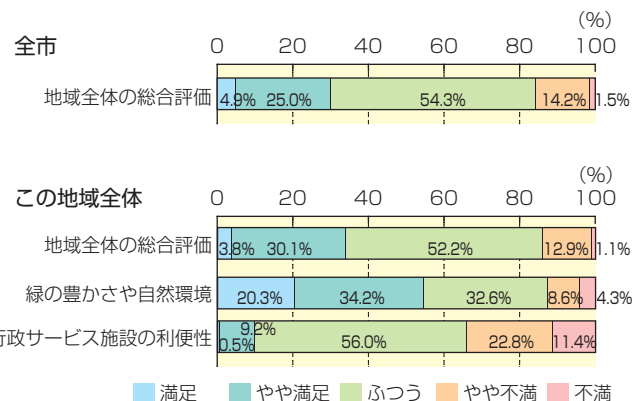


土地利用・住宅

共同住宅の比率が7割を超え、中でも民間賃貸共同住宅の比率が高くなっています。住宅地の評価は、緑や自然環境、景観の満足度が高く、行政サービス施設の利便性は低くなっています。

住宅地の評価

無回答は除外した構成比
 平成17年(2005年)住宅マスタープラン策定調査(現況調査)による
 ※従来のブロックの区割りにによる



地域マップ



春日神社



佐井寺伊弉奈岐神社



佐井寺



佐井寺旧集落のまちなみ



千里山のまちなみ



千里山第一噴水



関西大学

まちづくりの基本方向と計画

佐井寺や春日の旧集落とその周辺

基本方向

地域に点在する歴史・文化資源や自然を生かし、歴史・文化・自然のネットワークの形成に努め、魅力あるまちづくりを進めます。

計 画

- 春日神社、佐井寺、佐井寺伊射奈岐神社などの歴史・文化資源を生かしたまちづくりを市民の協力の下で進めます。
- 佐井寺や春日の旧集落に現在も残る歴史的まちなみの面影を生かし、趣のある景観形成を図ります。
- 緑の保全に努め、歴史・文化資源や自然に親しみながら歩けるルートを形成します。

関西大学とその周辺

基本方向

地域の人と大学や学生との交流を深め、大学が地域に息づくまちづくりを進めます。大学を地域資源として生かし、地域文化を育みます。

計 画

- 関大前駅や関西大学の周辺では、地域住民や商業者などとの協働により、学生と地域の交流の場の充実に努め、学生街としてのにぎわいと活気のあるまちづくりを進めます。
- 大学の施設開放やまちづくりへの参加などを促進し、市民の学習環境の整備と市民文化の振興を図ります。
- 大学の専門的研究機能や情報発信機能、学生の潜在能力やエネルギーを地域文化の発展とまちづくりに生かせるよう、大学との連携事業を推進します。
- 留学生との交流などを促進し、身近な地域での国際交流を進めます。

千里山住宅とその周辺

基本方向

千里山住宅とその周辺は、緑豊かで落ち着いた佇まいをみせており、風致地区にふさわしい良好な住環境の保全と育成に努めます。

計 画

- 地区計画制度や建築協定制度などの活用や、景観の誘導などにより、良好な住環境の保全と育成を図ります。
- 「みどりの協定」地区の拡大などにより、緑豊かなやすらぎのあるまちなみの育成を図ります。
- 洋風住宅など郊外型住宅地開発の文化的遺産を保全し、この地区の伝統を生かした住文化の創造に努めます。

この地域全体

基本方向

これまで営まれてきた地域でのさまざまなコミュニティ活動と連携し、住みよいまちづくりを進めます。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

道路整備などに努め、生活環境の向上を図ります。

計 画

- 地域住民が活用できる広域的なコミュニティ施設を整備するとともに、活動の場や情報の提供などを通じ、コミュニティ活動を支援し、住民同士の交流を促進します。
- 地域福祉の拠点となる地域保健福祉センターの整備に努めます。
- 児童館の整備を進めます。また、子育て支援活動を地域住民、社会福祉事業者との協働で進めます。
- 交通の不便な地域での移動手段について検討します。
- 千里山駅周辺の交通混雑を解消するため、千里山佐井寺線、春日豊津線の整備の促進に努めます。
- 豊中岸部線、佐井寺片山高浜線の事業に伴う街路樹の植栽など周辺環境整備に努めます。
- 雨水施設の未整備地域では、その効率的な整備に努めます。
- 千里山駅周辺整備事業については、地域の特性を生かした、魅力あるまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。
- 春日地区は、マンション建設により若年ファミリー層を中心に人口が急増しており、コミュニティの振興や子育て支援に努めます。

山田・千里丘地域

プロフィール

市域東部に位置しており、山田川や旧小野原街道沿いに古くから大きな集落が形成されています。集落内には旧家や由緒ある紫雲寺、圓照寺、山田伊射奈岐神社、太鼓神輿や権穴おどりなど、有形、無形の歴史的資源が数多く残されています。

山田西地区では、民間マンションや住宅団地の建設により急速に市街化が進みましたが、ヒメボタルの保存活動や公民館活動などコミュニティ活動が盛んに行われています。また、千里丘地区では企業の厚生施設、毎日放送千里丘放送センターなどの施設が立地していますが、比較的緑の多いこの地域でマンション開発などが進んでいます。

阪急山田駅周辺では、地域住民と事業者、行政によるまちづくりが実施され、さらに公共施設の整備により、新たな交流拠点が形成されようとしています。

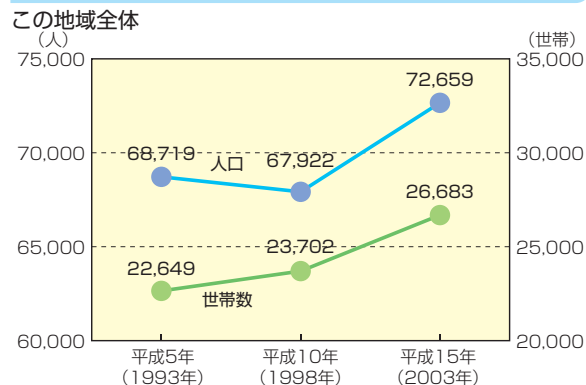


まちの様子

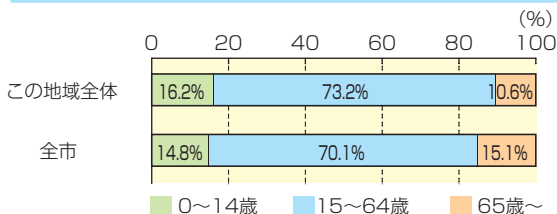
人口

人口増加が続き、年少人口の比率が高く、子どもがいるファミリー世帯の比率も高くなっています。

人口・世帯数の移り変わり 住民基本台帳による



年齢3区分別の人口割合 平成15年(2003年)住民基本台帳による

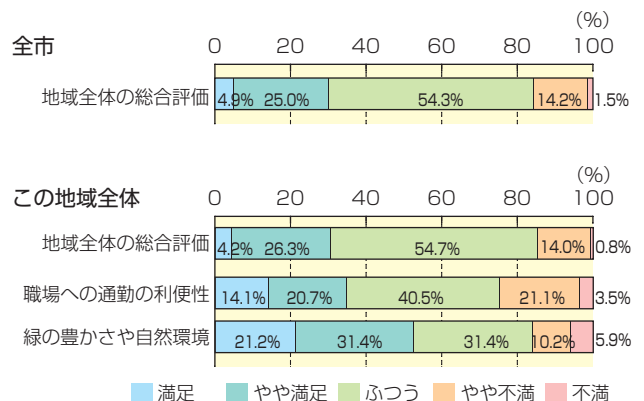


土地利用・住宅

6階建て以上の共同住宅の比率が5割、持ち家の比率が6割を超えています。住宅地の評価は、緑や自然環境の満足度が高く、職場への通勤の利便性は満足度が低くなっています。

住宅地の評価

無回答は除外した構成比
平成17年(2005年)住宅マスタープラン策定調査(現況調査)による
山田・千里丘地域については、万国博記念公園・大阪大学地域を含めた集計
※従来のブロックの区割りにによる



地域マップ



山田旧集落のまちなみ



圓照寺



山田伊射奈岐神社



千里丘のまちなみ

まちづくりの基本方向と計画

山田の旧集落とその周辺

基本方向

地域に点在する歴史・文化資源を生かし、歴史・文化のネットワークの形成に努め、魅力あるまちづくりを進めます。

計画

- 山田伊射奈岐神社、紫雲寺、圓照寺などの歴史・文化資源を生かしたまちづくりを市民の協力の下で進めます。
- 旧集落に現在も残る歴史的まちなみの面影を生かし、趣のある景観形成を図ります。
- 旧小野原街道や山田川沿いの道を、歩いて楽しめる道として活用します。
- 古くから伝わるまつりなどを通じて、幅広い層の地域住民の交流を促進します。

千里丘

基本方向

地域内の比較的まとまった緑の保全を図ります。また、住宅開発に伴う若年ファミリー層の流入に対応できるよう、公共施設の適正配置に努めるとともに、良好な住環境の保全と育成に努めます。

計画

- 土地所有者や開発事業者などの協力を得ながら、緑の保全を図ります。
- 学校をはじめとする公共施設の適正配置や幹線道路の整備に努めます。
- 大規模な開発に対する住民意見が反映される仕組みづくりを進め、良好な住環境の保全に努めます。
- 地区計画制度や建築協定制度などの活用や、景観の誘導などにより、良好な住環境の保全と育成を図ります。
- 交通の不便な地域での移動手段について検討します。
- コミュニティの振興と活動拠点の整備を進め、住民同士の交流を促進します。

この地域全体

基本方向

これまで営まれてきた地域でのさまざまなコミュニティ活動と連携し、住みよいまちづくりを進めます。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

道路整備などに努め、生活環境の向上を図ります。

計画

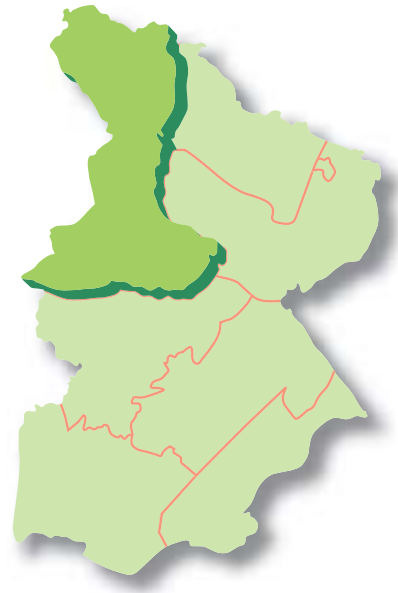
- コミュニティセンターの運営に、より多くの市民の参加を促し、市民の多様な活動の拠点として、また地域福祉の拠点として事業の充実を促進します。
- 地区集会所や地区公民館を活用した子育て支援をはじめ福祉や教育など、地域のさまざまな活動を支援し、交流を促進します。
- 千里丘豊津線、箕面山田線の事業に伴う街路樹の植栽など周辺環境整備に努めます。
- 雨水施設の未整備地域では、その効率的な整備に努めます。
- 山田西地区には、今後更新時期を迎える分譲マンションが多く立地しており、これらの維持管理や建替えに向けた支援を進めます。

千里ニュータウン・万博・阪大地域 (その1) 千里ニュータウンを中心とするエリア

プロフィール

竹林と雑木林の広がる丘陵地でしたが、日本で初めてのニュータウンとして、大規模開発事業が昭和30年代から約10年をかけて行われました。集合住宅と戸建住宅による住宅地、地区センターや近隣センターの商業地をはじめ、公園、道路などが計画的に整備され、大阪都心への交通利便性が高いまちとなっています。まちびらきから40年ほどが経過した現在では、住宅の老朽化も進み、時代の変化に対応したまちの更新時期を迎えています。

ニュータウン周辺部ではかつての千里丘陵の竹林や雑木林などが残されており、緑豊かな自然景観が保たれています。北部には国立循環器病センターや千里金蘭大学、青少年野外活動センターや市民体育館、市民プールなどの施設が立地し、南部でも千里救命救急センターなどの医療施設が立地しています。



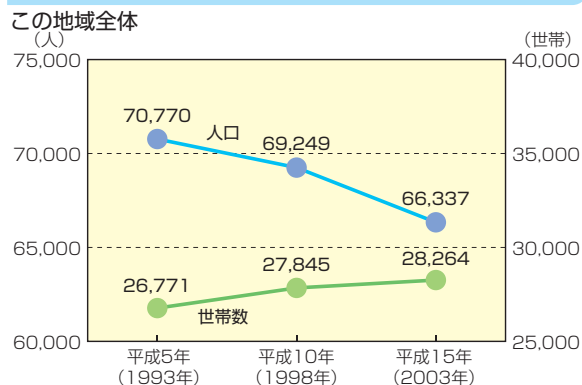
まちの様子

人口

人口減少が著しく、全市の中で最も高齢化が進んでいます。高齢者のみの世帯が非常に多くなっています。

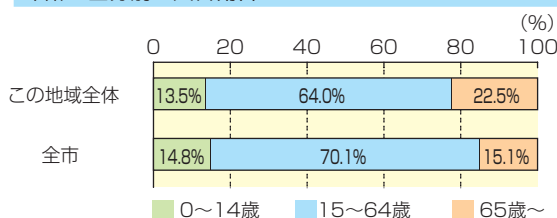
人口・世帯数の移り変わり

住民基本台帳による



年齢3区分別の人口割合

平成15年(2003年)住民基本台帳による

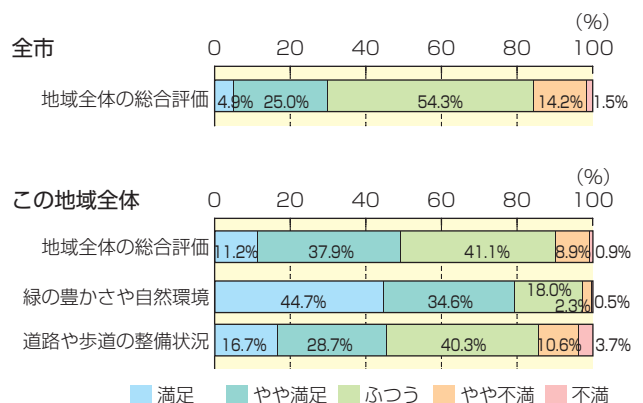


土地利用・住宅

5階建て以下の共同住宅が約6割、公営・公団等の公的借家が約6割を占めています。住宅地の評価は、緑や自然環境、景観の満足度が極めて高く、総合評価も高くなっています。

住宅地の評価

無回答は除外した構成比
平成17年(2005年)住宅マスタープラン策定調査(現況調査)による
※従来のブロックの区割りにによる



地域マップ



北千里地区のまちなみ



千里南公園



まちづくりの基本方向と計画

この地域全体

基本方向

大規模な建替え事業においては、周辺環境と調和した良好な住環境の保全と育成に努め、緑豊かなまちづくりを進めます。また、多様な世帯が住めるまちづくりを促進します。

計 画

- 公共賃貸住宅の建替えについては、住民をはじめとする関係者による協議など合意形成を促進するための環境整備に努めます。
- 公共賃貸住宅の建替えにおいて、緑地やオープンスペースが確保されるよう、誘導を図ります。また、多様なデザインの導入を促進します。
- 地区計画制度や建築協定制度などの活用や、景観の誘導などにより、良好な住環境の保全と育成を図ります。
- 高齢者向け住宅や若年世帯が入居できる住宅の供給を促進します。
- 幹線道路や主要な歩行者専用道の沿道などにおいて、日常生活へのサービス施設を配置するなど、立地条件や必要性に応じた住宅地の複合機能化を促進します。
- 浸水被害の発生地域では、雨水施設の能力増強の整備を計画的に進め、被害の軽減に努めます。

基本方向

地区センターは、多様な商業・業務機能に加えて、市民の文化や学習、交流の拠点として、充実に努めます。また、近隣センターは、日常生活の利便性の高い商業機能の整備とともに、福祉・交流の場としての活用を図るなど、にぎわいと安心のあるまちづくりを進めます。

計 画

- 大学との連携により学習・文化機能の充実を図り、商業機能の活性化に結び付けます。
- 商業者と地域住民によるまちづくりの取組を支援し、活性化を図ります。
- 空き店舗を活用した大学やNPOなどとの連携による新たな事業を支援します。
- 地域社会に密着したコミュニティビジネスの振興を図ります。
- 高齢者福祉や子育て支援にかかるサービス機能の充実を図ります。

基本方向

自治会や地域で活動するNPO、ボランティア団体などのさまざまな活動を通じて、ふれあいのあるまちづくりを進めます。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

特色あふれる「千里文化」の発展に向けて取り組みます。

計 画

- 地域住民が活用できる広域的なコミュニティ施設を整備するとともに、活動の場や情報の提供などを通じ、コミュニティ活動を支援し、住民同士の交流を促進します。
- 地域福祉の拠点となる地域保健福祉センターや、児童館の整備に努めます。
- 地域における支え合いのネットワークの形成に向けて、地域の相談・支援窓口や民生委員・児童委員、ボランティア等の連携を進めます。
- 大学等の学術研究機関や文化人・芸術家などが地域で交流する機会を充実し、地域の文化活動の促進を図ります。
- 留学生との交流などを促進し、身近な地域での国際交流を進めます。

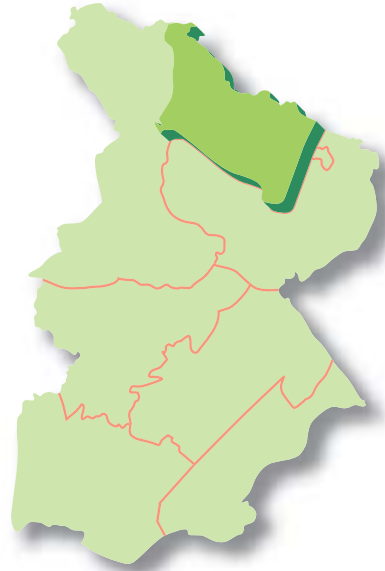
千里ニュータウン・万博・阪大地域（その2）万博記念公園・大阪大学を中心とするエリア

プロフィール

竹林と雑木林の広がる丘陵地でしたが、昭和36年（1961年）から大阪大学の移転計画が進められる一方、昭和45年（1970年）には万国博覧会が開催され、現在では万博記念公園と大阪大学キャンパスが地域の大部分を占めています。

万博記念公園内には国立民族学博物館、府立国際児童文学館、日本民芸館、自然文化園、日本庭園、エキスポランド、万国博記念競技場などがあり、多くの人びとに親しまれています。

万博記念公園東側に資源リサイクルセンターが立地しており、市民のリサイクル活動拠点となっています。また、北西部の大阪大学には多数の教育研究機関や医療機関が立地しており、これらの集積を背景にした「文化・学術・研究の拠点」としての充実が図られています。



地域マップ



大阪大学



国立民族学博物館



万博記念公園



資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)

まちづくりの基本方向と計画

この地域全体

基本方向

大阪大学や国立民族学博物館などが立地した高度な文化・学術・研究環境を生かし、住み、学び、働く、訪れる人でにぎわう、学びと文化創造のまちづくりを進めます。

計 画

- 文化・学術・研究施設の集積を活用し、市民、大学、事業者や行政が連携しながら、人材の育成と交流、教育文化環境の充実を進めます。

基本方向

万博記念公園の広大な敷地と豊かな緑は、多くの市民の誇りとなっており、レクリエーションと憩いの拠点として、訪れる人の顔が輝く交流広場づくりを進めます。

計 画

- 日本万国博覧会機構と連携しながら、広大な敷地にある豊かな自然を保全・活用し、多くの人びとが訪れ、自然に親しみ、遊び、交流できる環境整備に努めます。